

授業科目 卒業研究計画

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	義肢
江原 義弘、義肢装具自立支援学科教員全員		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	○		
【概要・一般目標：G10】 卒業研究に必要な技能を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究をする意義が説明できる。 2. 研究の方法が説明できる。 3. 計測器を使いこなせる。／障害者の機能や能力が評価できる。 4. 統計処理ができる。 5. 論理的な論文が書ける。 6. わかりやすいプレゼンテーションができる。 7. 社会に貢献できる研究テーマが選定できる。 8. 学生同士で協力し合って行動できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	研究とは何か、研究の倫理、著作権／卒研指導教員の推奨研究テーマ				江原、他全教員
2	情報検索の仕方				真柄、星名
3	論文の読み方				笹本
4	実験計画				前田
5	統計処理の仕方				阿部
6	論文の書き方				月城
7	プレゼンテーションの作成				東江
8	プレゼンテーションの仕方				飯塚
9	ゼミ活動				
10	ゼミ活動				
11	ゼミ活動				
12	ゼミ活動				
13	倫理審査申請書の書き方				阿部
14	研究計画発表会				全員
15	研究計画発表会				全員
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		勉強・研究・発表の技法	草間 悟	南江堂	1999・2,400円
		理学療法研究法	内山 靖	医学書院	2006・4,935円
		これから論文を書く若者のために	酒井聡樹	共立出版	
その他の資料					
【評価方法】 プレゼンテーションを評価する。 出席、態度を評価する。		【履修上の留意点】 ゼミの中でグループでひとつの研究テーマでも良い。 ゼミを越えてのグループ研究も可能。 他学科との共同研究も可能。 卒業研究の代わりに卒業制作も可能。 グループ研究でも論文はひとり1編ずつ書く。 14コマ目、15コマ目で研究計画をプレゼンする。			